

# 江別商工会議所 ななかまど通信

## 日商景気観測調査 8月調査結果

### 業況DIは、感染急拡大により悪化

### 先行きは、感染収束が見通せず、厳しい見方続く

日本商工会議所が発表した8月の全産業合計の業況DIは▲29.4と前月から5.3ポイントの悪化。

新型コロナウイルス変異株の感染急拡大により、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の期間延長・対象地域の拡大が実施された。これに伴う帰省を含む外出自粛やイベントの中止、営業制限等の影響により、客足が減少した百貨店などの小売業や、観光関連を中心としたサービス業の業況感が悪化した。また、鉄鋼や木材などの原材料価格の上昇、東南アジアの感染拡大による部品調達難が製造業、建設業など幅広い業種における業況の押し下げ要因となっている。業況回復に向けた動きが見られていた中小企業の景況感は、厳しい状況が続く。

先行きについては、先行き見通しDIが▲32.3（今月比▲2.9ポイント）へ悪化。

ワクチン接種の進展による経済活動正常化に期待する声が聞かれる一方で、新型コロナウイルスの感染収束が見通せず、長引く受注・売上減少や客足回復の遅れから、業績悪化の継続を懸念する企業は多い。また、世界的な半導体不足による生産調整や、鉄鋼などの原材料価格上昇分の価格転嫁の遅れなどもあり、先行き不透明感は強まっており、厳しい見方が続く。

ブロック別では、北海道地区が ▲27.0 と、前月から 5.8 ポイント悪化。

◎建設業では、公共工事は底堅く推移しているものの、技術者不足に伴う受注機会の損失により、売上が悪化したほか、木材や鋼材等の資材価格の高騰により採算が悪化した。また、製造業では、まん延防止等重点措置の適用や全国的な感染拡大の影響を受け、ホテルや飲食店向けの商品を扱う食料品関連で売上が悪化したほか、小麦や大豆等の原材料価格上昇の影響により、採算も悪化した。

※全国 337 商工会議所が 2,651 企業にヒアリングを実施

※DI値とは、（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）による値。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答（「増加」や「好転」など）の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答（「減少」や「悪化」など）が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味します。

## 北海道労働局 労働基準部 賃金室から最低賃金改定のお知らせ

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されます。（効力発生年月日 令和3年10月1日）

# 北海道最低賃金 時間額 889円

○ 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金は算入されません。

○ 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」「鉄鋼業」「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）で働く方には北海道の特定（産業別）最低賃金が適用されます。